

発見！まちのグルメ

歴史を引き継ぎ
新出発！

きらく
甘味処 喜良久



お店の入り口に歴史を感じます

大井町西口から、徒歩123歩！イトーヨーカドーの前に、この夏『かき氷』ののれんがかりました。あれ？ここって前からあるけど甘味屋じゃなかったよな？と思い、さっそく取材をさせていただきました。

奥さまの鳥居康子さんに聞きました。「私はここ『喜良久』の娘です。父が50年間、日本料理店を経営。地元の皆様に愛されるお店でしたが、この4月に父が引退。そこで、50年の歴史と、『喜良久』の名を引き継ぐべく、甘味処として再出発なんです。」とのこと。ご主人の泰吾さんからは「私も妻も祖父母が和菓子店だったこと、駅周辺にかき氷屋さんがなかったこと、前店の雰囲気を引き継げることで、かき氷を提供しよう！と決めました。」とお話の聞けました。



ブルーベリーカンスオレンジ

かき氷大好きな私。早速注文！ふわっふわの大きなかき氷がテーブルへ。思わず「うわあ！」という声でました。さっそくスプーンを…さて、崩さずに食べるにはどこから攻めよう。と思っていたら。。

「上の方からスプーンをいれて真ん中を崩すように食べてくださいね！」とのご助言。

「ううん、身体の芯から潤っていくう〜」しかも頭が痛くならない！その秘訣は二葉町の「飛騨屋」から仕入れた純水。ゆっくりと冷やし薄紙を重ねるように凍らせた氷だからその、くちどけだそう。またかき氷に使うシロップやクリーム、あんこ、きな粉もすべて素材にこだわり奥さまの手作り。どう

りで優しい自然の味が口の中に広がります。「かき氷は通年出しますが、秋にはあんこを使った甘味や団子など甘味を提供します！」と、微笑むお二人の笑顔に、新たな歴史を刻みだしたことを感じました。



笑顔の素敵な店主さんご夫婦が
出迎えてくださいます！

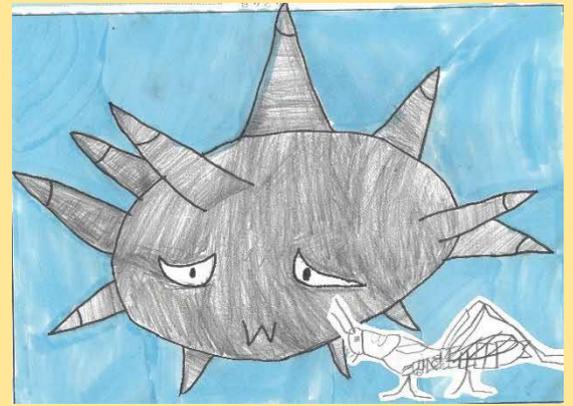
営業時間： 曜日により変動
定休日： 不定期（インスタ掲載）
Instagram @kiraku_ooi

【取材・編集：高木】



兄弟での
合作、素敵で
すね♪オリジ
ナルのキャラクターで
しょうか？何とも言えない
チクくんの表情がとても
かわいらしいです^^

寄り添っているバツタくんもよく描けています。が、中足のついている所が惜しい！本物や図鑑をよく観察して描いてみよう。【五十嵐】



ツッテーズ 大井第一小学校2年、4年兄弟合作
『ウニのチクくんとバツタ』



紙芝居
を読んで

「おばあさんは川で洗濯を、おじいさんは・・・」
「子どもたちへ『桃太郎』の紙芝居を読み終わり」
パパ：みんなどうだった？
息子：桃太郎は、オニやつつけて何をもらったの？
パパ：宝物だよ！
息子：そんなんじゃないよ、おばあさんには洗濯機あげてほしいかな。
パパ：その言葉聞いたらおばあさん泣いて喜ぶね！
息子さんの優しい気持ち、お父さんにはとてもうれしかったですよね。（高木）

わ！しながわ 第28回
地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き「地域の輪」をつなげていきます。

市川和男さん
市川和男さんは「市川クリーニング商会」の三代目。昭和初期、南大井から大井五丁目に移り、今も店内で手仕上げを引き継がれています。仕上りの良さは元よりわがままも聞いて下さり、筆者も長らくお世話になっていきます。「面白い話なんかないよ」と控えめな市川さんから、昔の話を交えながら伺いました。

かつて池上通りは、お店が建ち並ぶ活気のある商店街だったそうです。職人さんも五人程おり、市川さんも小学校六年生位から配達を手伝いながら、見よう見まねで技術を学んだそうです。「だから我流なんだ。でも一人前になるには五年から十年はかかるかな」と職人さんらしい奥ゆかしさと自信を感じました。

仕事は屋内のため、野球やゴルフなど屋外スポーツを幾つもちやっていたそう。「もう歳だから何もやらないんだ」とのことですが、お仕事に向かう姿は未だ現役バリバリです！

今回は、市川さんと同じ歳の、鳥安商店新井菊一さんをご紹介頂きました。
【嶋村】

わ！しながわ
第28回

地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き「地域の輪」をつなげていきます。

市川和男さん

しながわ区民公園に こどもサッカー場が誕生！

令和5年8月にしながわ区民公園北側ゾーンに、区内初の子ども専用のサッカーコートがオープン。「子どもが継続的にスポーツに親しめる環境の充実」を目的として、区民からの「専用サッカー場がほしい」という要望を受けて誕生しました。

しながわ区民公園こどもサッカー場 基本情報

規模： 約3000㎡(人工芝) 設備： ゴール・ベンチあり
8人制サッカーコート1面 収納スペース完備
(フットサルの場合2面)

【木倉・土田・出澤・松下】



ひろーい！
サッカー場の様子

「広くて芝だから思い切りサッカーが出来るのが嬉しい！」
「のぞいてみて、一般開放されていて混み合ってる感じが、主にも利用しています。」
「ほかの公園だとサッカーしている横でキャッチボールしていたり、危ないなと感じることがあるので、サッカー専用コートができて嬉しい！」
「たまたま違うグループと一緒に遊ぶときは、試合形式のゲームをしたりして交流しているよ。」
などリアルな声が聞けました。

どうやってつかうの？
空いているか知りたい！

事前予約制ですが、予約が入っていない場合は随時一般開放されています。一般開放時は大人(中学生以上)の使用も可。まずは品川区施設予約システムで空き状況の事前確認を。

サッカーキッズにインタビュー

サッカー場を利用中の子どもたちに使い心地を聞いてみました。

人工芝が新しく、フカフカでした。隣接する自然豊かな公園は、開放的でベンチもたくさんあって、休憩スペースも充実。トイレ・手洗い場、バスケットコートもサッカー場のすぐ隣にありました。コート横に移設された桜の広場は、改築前の木々の面影を残しつつ、キャッチボールを楽しくするスペースのほか、健康遊具が配置されるなど、様々なスポーツや花々を楽しむ素敵な場所に生まれ変わったなと感じました。このような施設ができることにより、地域交流が増えることを期待しています。こども野球場も完成が楽しみです！

